

令和2年3月31日
社会福祉法人みずものがたり
こども発達教育スクール「おへそこどもスタジオ」
作成者 理事 吉村直記/管理者 川原みずき

自己評価表集計結果 報告書

先に実施したアンケート調査について、集計した結果を報告します。

1, 調査目的

「児童発達支援ガイドライン」に基づき、1年に1回程度、事業者向け、保護者向けの自己評価（アンケート）を実施し、その結果を踏まえて、事業運営の改善を図る。

2, 調査期間

令和2年3月23日（月）～令和2年3月31日（火）

3, 調査対象

- 1) 当事業所をご利用中のご家庭14世帯
- 2) 当事業所に従事する職員7名

4, 回収状況

- 1) 回収数（保護者向け14世帯中10世帯） 回収率70%
- 2) 回収数（職員向け7名中7名） 回収率100%

5, アンケート結果について

（別紙資料）

以上

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和2年3月31日

事業所名 こども発達教育スクール「おへそこどもスタジオ」

保護者等数（児童数） 14人 回収数 10人 割合 70%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10				・たまに園庭で大人数で遊んでいるところを見ると危なく感じることもあるが、時間をずらしたりして調整されていると感じる。	こども園との良い交流の時間でもあるので、見守りを強化しながら安全に努めてまいります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10					
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1			・雨天意外の予定変更の場合、当日行って変更になることを知ることがあったので、前日にはお知らせ願いたい。2階のホワイトボードに書いていただいていることもあるが、では気付かないことが多かった。	予定変更について、より保護者様にわかりやすくお伝えできるよう検討いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10				・よく先生方が掃除しているところを見かけます。	・ありがとうございます。引き続き、衛生面などにも気を配ってまいります。
適切な支援の 提...	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	10					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8			2	・計画には満足していますが、「本人の課題」「保護者の願い」が同じになってしまい、記入する際に悩みます。 ・発達がゆっくりなので、個別の活動目標が毎月同じ内容になってしまいます。本人の特性を掴んで、目標を提案してくださると励みになります。	より保護者様がわかりやすく記入いただけるようフォーマットを検討していきます。また、本人の特性を掴み、目標を提案することも実施していきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10					

供	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	10					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10				・こども園と隣接しており、イベントも参加できるので、他にはできない経験があり満足しています。 ・異年齢も良いですが、将来的に考えると同年齢に馴染めるのか心配な点もありますが、先生に相談にのってもらっています。	こども園との交流、異年齢の環境ももちろんのこと、同年齢の交流も発達を見ながら実施していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10					
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	10				・さらに保護者が療育を学べる機会があれば良い	・引き続き保護者支援についても強化してまいります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	1			・降園の際に日中の出来事を教えてくださり、連絡帳にも詳しく記入いただいています。	引き続き少しでも日中の様子が伝わるよう努めてまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	1			・先生方との連携が取れているので、保護者同士の連携の必要性を感じません。保護者間のグループLINEがあり、人付き合いに気を遣う場面があります。	保護者交流を望まれていない保護者様へも配慮しながら運営してまいります。また、グループLINEなどはあくまで当園とは関係ないものですので、参加は保護者様の任意で問題ないかと思えます。また、そのような思いの保護者様もいらっしゃるというお気持ちにご配慮しながら運用をお願い申し上げます。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7				・インスタで日中の様子が見れるので楽しみです。	引き続き保護者様に安心していただけるような発信に努めてまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	7					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9			1		・毎月の避難訓練を実施しております
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9			1		・毎月避難訓練を実施し、非常災害に備えております
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	10				・毎日楽しみに登園してくれます。 ・前に比べ泣くことが減りました。	引き続き「明日も行きたいな」と思ってもらえるよう努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	10				・子どもの特性をご理解、対応いただき感謝しています。	引き続き、子ども一人ひとりの特性の把握に努め、よりよい療育へとつなげてまいります。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年3月31日

事業所名 こども発達教育スクール「おへそこどもスタジオ」

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・適切に実施している	
	2	職員の配置数は適切である	6	1	・適切に実施している	・急な職員の休みなどの体制を念頭に入れ、体制を整えていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	・子どもの成長段階に応じて環境を整えている。	・聴覚に過敏になる子、気分が乗らない子など、それぞれの特性に合わせて構造化がさらに環境を整えていきたいと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・掃除は毎日適切に実施してる ・子どもが集中して遊べるよう環境が選べる。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	・計画をたて、定期的に協議し支援している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		・保護者の願いに沿って療育を実施している。 ・その都度保護者等の意向は、職員間で共有している。 ・ご家庭との情報交換ができています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		・インスタで情報開示できている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	-	-		・第三者評価は実施していないので、これから検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・療育支援センターの研修に参加している。	
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	1	・定期的にアセスメントの、ヒアリングしながら計画を立てている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	・アート、運動、学習の他にこども園との交流など様々なプログラムを実施	・子どもそれぞれに個別化し工夫を凝らしていく。

提 供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	1	・子どもの発達、興味関心、また苦手なことなど個別、集団、適宜、子どもの必要な活動を考えている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・日々共有ノードの確認話し合い、打ち合わせ等を分担している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	・毎日協議を実施している。	・中間などの共有をさらに強化していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	2		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2		・他期間との連携をさらに実施していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・同法人のこども園との交流、連携がなされている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	・モニタリング、資料作成などで連携を実施している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7		・定期的に同世代の子どもたちとの交流を行っているので、少しずつ抵抗なく入れるようになってきている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3		・一部の職員が参加をしているので、職員間で共有を実施していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・日々情報共有を行った。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	1	・家族支援プログラム（トリプルP）を実施した。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・保護者との話し合いで実際に様子をみながら支援を行った。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3		ハロウィン等の仮装行列等の実施したが、さらなる地域に開かれた場所にしていく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		・毎月、防災訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		・スタッフ間で協議がなされ意識高く実施できている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	・年度はじめの研修で虐待に関する研修を実施している。	・全職員が把握できるよう努めていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	3		・明確にルール化し実施していく。